



令和4年3月15日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広報常任委員会

第43号

今号の主な内容

- 市民議会……………①
- 一般質問／モニター意見・感想(40・41号)……②～③
- 議決一覧(1月第2回、2月)／特別委員会調査報告／今後の予定……………④

市民議会「U22学生編」中止に!

▶テーマ「私が望む20年後の滝沢」 紙上版公開「若人おおいに語る」

2月6日当日は、コロナ感染症対応のため、やむなく中止に。紙上での公開となりますが、学生の皆さんの提言を紹介いたします。



ビッグループ滝沢ギャラリーへ展示
◎展示期間「2月25日～3月8日」

①滝沢南中学校

しち こうのすけ かつた はると
志知 倅之介さん・勝田 陽斗さん



「20年後の滝沢市の 高齢者福祉について」

介護する人もされる人もみんなが笑顔で明るく過ごせる街に。介護に寄りそう地域づくりとして、介護従事者の働く環境を整え、介護職をやりがいのある仕事にする。また、介護を必要としない体づくりの推進も必要です。

②滝沢第二中学校

せんぼく ゆうた いわさき たいち
仙木 湧太さん・岩崎 泰知さん



「20年後の滝沢市のために、 私たちができることについて」

暮らしやすい環境に配慮した街で、訪問者が多い魅力的で賑わいのある市に。自分たちが現在取り組んでいる「マイタウントレジャー」や「募金活動」「地域内連携」が20年後の滝沢市のためになる事に繋がる取り組みです。

③一本木中学校

つのかけ なお いしい かすみ
角掛 那緒さん・石井 華純さん



「私たちの学習環境と防災について」

市民の一人として、一人でも多くの命を助けるため、中学生としてできることは何か考えたい。さらに、滝沢のすばらしさを継承し守っていくこと、世界を相手に仕事したり活動したりする志を持つことに挑戦したい。

④姥屋敷中学校

いしくら ほのか みやばやし ちか
石倉 穂夏さん・宮林 和さん



「私が望む20年後のたきざわ」

将来の姥屋敷は、バス通りで交流し人々の繋がりが強い明るい地域になることを望みます。大型イベントを開催。有名な芸能人を呼び、自然や特産品を販売し姥屋敷の良さを知ってもらい活気に満ちた地域になることを期待します。

⑤柳沢中学校

さくらい うみ いわさき ひな
櫻井 宇実さん・岩崎 柊奈さん



「私が望む20年後のたきざわ」

4つの駅周辺に顔の見える地元の農産物を使った店舗、レストラン、カフェがある街づくりをし、暮らしやすく活気のある街に。自然の象徴である岩手山麓にサイクリングロードを整備し、利用者が全国に広め沢山の人が訪れてもらえる魅力ある市に。

⑥滝沢中学校

てらだ ちほ いのうえ
寺田 千穂さん・井上 はなのさん



「過ごしやすい地域をめざして」

20年後の滝沢について2年生全員で考えました。「自然などの環境」「福祉や教育」「伝統や文化」に関心を持っています。思いを持って人が動くことが大事で、滝沢市の将来を考えることはそこに住む自分たちの将来の姿を考えることにつながります。

⑦盛岡農業高校

むらさとれいか まつうら みく
村里 怜華さん・松浦 美空さん



「滝沢の農業を知ってもらおう!」

高校で牛の世話や作物の栽培を実習し、農業の魅力や重要性を認識。滝沢スイカのイメージキャラクター「スイカ男爵」を発案。盛農祭等での活動を動画配信・SNSを活用し、農業を学ぶ高校生や若い世代へ農業を発信します。

⑧盛岡農業高校

ちば みずき
千葉 美珠樹さん



「滝沢市がつくる新しい医療のかたち」

農業が盛んで、農業高校がある滝沢市だからこそ予防医療に農業を取り入れ、運動から食までをサポートする取り組みで、他市町村のモデルに。滝沢市から農業と医療の連携を発信することによって、日本の農業も医療も変わっていくのでは。

⑨盛岡北高校

すずきさくら やまぐち あき
鈴木 桜さん・山口 晃季さん



「2021滝沢市改革プロジェクト」

通学路や公園の改善、子ども相談窓口等の設置を行い、20年後は、どの世代もそれぞれが積極的に街づくりに参加し、滝沢市を「安心・安全で理想の街」と誇りに思えるような市にしていきたい。

⑩盛岡大学

あべ きこ
阿部 姫子さん



「学生が集うサードプレイス」

若者が積極的に活躍でき暮らしやすい市を目指すために、学生が気楽に利用でき開放的な居場所となる施設として、サードプレイスを作ります。そこでは勉強、カフェなど自由に利用できるので居心地の良い滝沢市の実現につながります。

⑪岩手県立大学

やまだ れいか かの ちゆみ
山田 玲花さん・菅野 千史さん



「NEWS 滝沢市議会 ～学生による議会参加のために～」

学生と議員との距離を近くし、議会が若者の意見を取り入れやすくするため「NEWS 滝沢市議会」の作成を通して、大学生と議会が直接かかわる制度を構築します。

⑫岩手県立大学

しんどう みゆう おおとうしゅんすけ
進藤 美優さん・大藤 俊介さん



「世代間交流から始める20年後の滝沢」

様々な世代間交流が発展すれば住民の幸福につながり、住民幸福度が上昇し、本市の政策に合致すると考えます。20年後の理想の姿として全世代間交流が活発化している滝沢市を目指したい。